

11月2日

枯れ葉が校庭に舞う季節になりました。

子供達は、冷たい風にも負けずに、持久走の練習を頑張っています。

本日は、全校朝会を校内放送で行いました。私は以下のことを話しました。

おはようございます。

前回の全校朝会の時に校長先生が話したことを覚えていますか。「言葉のキャッチボール」というお話をしましたね。

この前の日曜日に、地域の方が中心となってハロウィンイベントを行っていました。江戸小の子供達がたくさん参加していましたね。校長先生もみなさんがどんな様子で参加しているのか気になって見にきました。

そうしたら、胡蝶しのぶさんや孫悟空やルフィーなど楽しい変装をした子供達が校長先生に向かって元気よく「こんにちは」とあいさつをしてくれました。とってもうれしかったです。心があたたかくなりました。その後、協力してくれた商店街のお店にお礼に伺ったところ、お店の方からも「子供達からお礼を言われて、とてもうれしかったです。協力してよかったです」と言っただけでした。まさに「言葉のキャッチボール」だなあ、と思って益々うれしくなりました。皆さんを温かく見守ってくれているのは、地域の方だけではなくありません。おうちの人・学校や塾や学童などの先生、クラスのお友達、みんなそうです。今後も「言葉のキャッチボール」大切にしてほしいと思います。

さて、今日お話しするのは、「今までよりも強い自分になる」ということです。

秋になり、読書にも勉強にも運動にも、そして校長先生が大好きな食べるにもぴったりの季節となりました。皆さんには、いろんなことにチャレンジすることで、自分自身を高めていってほしいと思っています。

今、部活動や委員会活動、清掃活動等で、高学年の子供達が頑張ってくれているのを知っていますか。きっと「寒いから外でやりたくない」とか「もっと寝ていたい」とか、いろいろ思っているだろうに「自分の成長のために」「学校のために」と、頑張ってくれている高学年の子供達の姿は、本当にかっこいいなあと思っています。こうした高学年の人たちの頑張りは必ず自分の心を強くします。つらいことがあっても負けないでやり抜く強い心が育っていきます。皆さんもぜひ高学年の人たちのように頑張してほしいと思っています。

たとえば、持久走の練習です。「どうせ自分はこれしか走れない」「つらいから走りたくない」と決めつけるのではなく、前の日よりも一歩でも前へ進むことを考えてください。そういう練習の積み重ねが「今までよりも強い自分」になっていくと思います。

また、今月は全校イベントもあります。高学年の人たちがすばらしい企画をしてくれています。いろいろなことを抱えている高学年の人たちにとって、これもとても大変なことだと思っています。でもこのこともきっと今より強い自分になっていくチャンスなのだと思います。

大事なことは、人と競うことではないです。自分自身に負けないことです。

校長先生の大好きな寵門 炭次郎も「あきらめるな」と自分自身に言っています。11月は皆さん心の中に「あきらめるな」と言い聞かせて頑張してほしいと思っています。皆さんだったらきっとできると校長先生は信じています。

本校の児童は、気持ちの優しい子が多いのですが、逆境に負けない強い心も育てていきたいと考えております。今後も御支援・御協力の程、よろしくお願い致します。

流山市立江戸川台小学校 校長 上原 和浩